

～正の数と負の数のたし算～ めあて：符号に注意して、ていねいに計算できる

※たし算は下の 2 パターンに分かれる

同じ符号の場合：(正の数)+(正の数), (負の数)+(負の数) ⇒  (絶対値のたし算)

異なる符号の場合：(正の数)+(負の数), (負の数)+(正の数) ⇒  (絶対値のひき算)

～たしかめよう！～

【例 1】 $(-3)+(-4)$ の計算をしましょう。

$$\begin{aligned} (-3)+(-4) &= [\quad] (3+4) \\ &= [\quad] \end{aligned}$$

教科書p.26 例 1 を見よう

同じ符号の数のたし算だから、2 数と同じ符号(ここでは-)をつけて、絶対値(ここでは 3 と 4)のたし算をすればいい。

【例 2】 $(+5)+(-7)$ の計算をしましょう。

$$\begin{aligned} (+5)+(-7) &= [\quad] (7-5) \\ &= [\quad] \end{aligned}$$

教科書p.26 例 2 を見よう

異なる符号の数のたし算だから、2 数の絶対値の大きい方の符号(ここでは-)をつけて、絶対値(ここでは 7 と 5)のひき算をすればいい。

～やってみよう！！～

【問 1】 $(-2)+(+6)$ の計算をしましょう。

$$\begin{aligned} (-2)+(+6) &= [\quad] (2+6) \\ &= [\quad] \end{aligned}$$

【問 2】 $(+4)+(-8)$ の計算をしましょう。

$$\begin{aligned} (+4)+(-8) &= [\quad] (8-4) \\ &= [\quad] \end{aligned}$$

～といてみよう！～

① 次の計算をしましょう。

(1) $(-5)+(-2)$

(2) $(-4)+(+9)$

(3) $(-7)+(+6)$

(4) $(+10)+(-10)$

(5) $(-1.4)+(-3.1)$

(6) $\left(-\frac{1}{2}\right)+\left(+\frac{3}{4}\right)$

～ ふりかえり・質問コーナー ～

～問題集をやってみよう！～

p.